

春のピアノ四重奏



20th anniversary

兵庫県立芸術文化センター
開館20周年

—ミュージズが輝く瞬間

Hisako
Kawamura
[piano]

ピアノ:河村尚子

©Marco Borggreve

Yuki Ito

[cello]

©Ryusei Kojima

チェロ:伊藤悠貴



ヴァイオリン:岡本誠司

Seiji
Okamoto
[violin]

©Yuji Ueno



ヴィオラ:赤坂智子

Tomoko
Akasaka
[viola]



Nos Dame

— 我らの女性

3人の女性作曲家の名曲

Program

レベッカ・クラーク
Rebecca Clarke

ピアノ三重奏曲
Piano Trio

ヴィオラ・ソナタ
Viola Sonata

クララ・シューマン
Clara Schumann

ピアノとヴァイオリンのための3つのロマンス
Three Romances for Violin and Piano

アマダ・レントヘン=マイエル
Amanda Maier-Röntgen

ピアノ四重奏曲 ホ短調
Piano Quartet in E minor

2025. **4/20** 日

2:00PM開演 (1:30PM開場)

A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

1/12

日

芸術文化センター
チケットオフィス

☎0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は1/13(月・祝)より

芸術文化センター会員先行予約受付開始

1/10 金



兵庫県立
芸術文化センター



※未就学児はご入場いただけません。 ※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

希望を灯し続けた3人の女性作曲家たちの名曲

Clara Schumann
1819-1896

Amanda Maier-Romgen
1853-1894

Rebecca Clarke
1886-1979

芸術文化センター開館20周年に相応しく、滅多に取りあげられる事のない女性作曲家たちの貴重な名曲を揃えた河村尚子が自ら構成した特別なプログラム。1人目は、レベッカ・クラーク。壮絶な人生の中で自らの音楽を切り拓いたイギリスの作曲家。優れたヴィオラ奏者でもあった彼女の見事な旋律美の傑作「ピアノ三重奏曲」「ヴィオラ・ソナタ」をお聴きいただく。このピアノ三重奏曲は、河村尚子が第51回サントリー音楽賞受賞記念コンサートで演奏した楽曲でもある。

2人目は、女流天才ピアニストとして活躍したクララ・シューマン。音楽史に名を刻む偉大な作曲家シューマンやブラームスに音楽の助言者として多大な影響を与えた稀有な音楽家。今回演奏するのは、ヴァイオリンの名手ヨアヒムに献呈した「ピアノとヴァイオリンのための3つのロマンス」。夫シューマンを献身的に支え8人の子育てをしながら音楽への情熱を絶やさなかった彼女の意志の強さを秘めたような気品あふれる艶やかな名作。

最後は、ヴァイオリニストでもあるスウェーデン出身のアマンダ・レントヘン=マイエル。夫ユリウスと共にグリーグやブラームスと親交し、ロマンティックで美しい作品を生み出した彼女の「ピアノ四重奏曲」をお届けする。

国は違えど、女性が作曲家になることは世間的に認められなかった時代に生きた彼女たちが、自身の音楽の可能性を信じ遺した珠玉の名曲を是非お楽しみいただきたい。

国内外で活躍する実力派の演奏家で構成されるカルテット

今年9月に日本デビュー20周年記念リサイタルで優しく力強い圧倒的な演奏で聴衆を魅了した、河村尚子。バッハ国際コンクール(ヴァイオリン部門)において初のアジア人優勝を果たし話題を呼んだ、岡本誠司。ドイツを拠点に活躍し、ザルツブルク音楽祭等に常時招かれる、赤坂智子。イギリスの名門フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビューした、伊藤悠貴が集結する。

✧ ピアノ：河村尚子 Hisako Kawamura, piano

ミュンヘン国際コンクール第2位、クララ・ハスキル国際コンクール優勝。ドイツを拠点に、ウィーン響、バイエルン放送響などにソリストとして迎えられ、室内楽でもカーネギーホールなどで演奏。日本ではP.ヤルヴィ指揮NHK響など国内主要オーケストラと共演を重ねる傍ら、ヤノフスキ指揮ベルリン放送響、ピエロフラーヴェク指揮チェコ・フィル等の日本ツアーに参加。文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞ほか、2020年には第32回ミュージック・ベンクラブ音楽賞独奏・独唱部門賞、第12回CDショップ大賞2020・クラシック賞、第51回サントリー音楽賞を受賞。主なCDに、2019年10月リリースの、「熱情」「ワルトシュタイン」を含むベートーヴェンのピアノ・ソナタ集、「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番&チェロ・ソナタ」など(RCA Red Seal)。2024年はデビュー20周年を迎え、記念のツアーを行い、新しいアルバムをリリースした。現在、ドイツのフォルクヴァング芸術大学教授。西宮市出身。

✧ ヴァイオリン：岡本誠司 Seiji Okamoto, violin ✧

2014年第19回J.S.バッハ国際コンクール、2021年ARDミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門でそれぞれ第1位など受賞歴多数の実力派。現在はドイツを拠点に、コンチェルト・ソリストや室内楽など精力的な演奏活動を行いつつ、ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでは後進の指導も行う。これまでにベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、MDRライプツィヒ放送交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、NHK交響楽団等国内外のオーケストラとの共演多数。2022年文化庁長官より表彰。第31回出光音楽賞を受賞。ヴァイオリンはNPO法人イエロー・エンジェルよりM.ゴフリラー(1702年)の貸与を受け、(株)日本ヴァイオリンより名器貸与特別助成を受けている。

✧ ヴィオラ：赤坂智子 Tomoko Akasaka, viola

ジュネーブ音楽院にて今井信子女史に師事の傍同校助教を経て、ライプツィヒ、デュッセルドルフ音楽大学にて後進の指導に当たり、現在ミュンスター音楽大学教授。桐朋学園大学在学中より、セイジ・オザワ松本フェスティバル、NHK名曲アルバム等に出演。海外では、スイス・ルツェルン、ヴェルビエ音楽祭、オーストリア・ザルツブルク音楽祭等に常時招かれ、コンサートではベルリン・フィルハーモニーホール、ウィーン・ムジークフェラインなどのホールにてリサイタルに出演。第53回ミュンヘン国際音楽コンクール第3位授賞。ペンデレトン財団よりミュージシャン・オブ・ザ・イヤー授賞。

✧ チェロ：伊藤悠貴 Yuki Ito, cello ✧

ブラームス国際コンクール第1位、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクール第1位、齋藤秀雄メモリアル基金賞など多数受賞。名門フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビューして以来、国内外の主要楽団と共演を重ね、ウィグモア・ホールでリサイタルなど欧州楽壇の檣舞台を踏む。幅広いレパートリーの中核にラフマニノフ研究を据え、『ラフマニノフ：チェロ作品集』ワールドワイド・リリース他、学術単行本『ラフマニノフ考』を上梓。

便利なアクセス!!

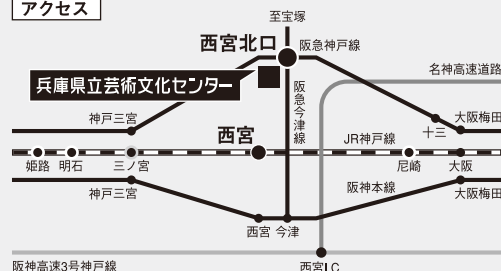
大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら

